

## 第2学年 音楽科学習指導案

指導者 鈴木 真由美

題材におけるテーマ	表現したいイメージをもち、互いの思いや意図を認め合いながら、仲間とともに表現する楽しさを味わうことのできる指導の工夫
-----------	------------------------------------------------------------

### 1 題材名 ことばとリズム つなげて重ねて表現しよう（ボイスアンサンブルの創作）

教材名 「くいしんぼうのラップ」 作・構成 和田 崇  
「どんぶりパーティー」 作詞・作曲 山田 俊之

### 2 題材について

本題材は、中学校学習指導要領解説音楽編（平成20年9月）の第2学年及び3学年のA表現（3）創作の「イ 表現したいイメージをもち、音素材の特徴を生かし、反復、変化、対照などの構成や全体のまとまりを工夫しながら音楽をつくること」が指導事項になる。これを受け、本題材ではボイスアンサンブルを取り上げ、言葉によるリズムをつくり、それをつなげたり重ねたりする活動を通して、構成や全体のまとまりを考え、自分たちのアンサンブルをつくっていくことをねらいとしている。

創作の学習については、1学年でアルトリコーダーの1音を用い、いろいろな4分の4のリズムをパターンとして学習し、4小節の中の1部分にそのパターンの中から1つから3つを選んで当てはめて自分のものをつくるということは経験している。

ボイスアンサンブルはほとんどの生徒が初めての経験となるので、「どんぶりパーティー」と「くいしんぼうのラップ」の2曲を聴いたり、演奏したりしてボイスアンサンブルのおもしろさ、楽しさを味わえるようにしたい。そして、2曲の言葉のリズムの付け方やリズムの重ね方の特徴を探っていくことで、自分達もつくれるかもしれない。つくってみようという気持ちが持てるようにしていきたい。言葉にリズムをつけていく活動では、あらかじめ2拍分のリズムを用意し「リズムカード一覧表」の中から2枚選んでつなげると1つのリズムパターンができるようになる。そしていくつかのリズムパターンをつなげたり、いろんな重ね方の中からグループのメンバーと選んで試したりしていくうちに、自分達のボイスアンサンブルが完成していくようになる。「つなげる」「重ねる」をキーワードに活動を進めていく。また、創作活動はグループで行うが、自分の活動を振り返る時間をつくることで、思いや意図をもって活動に主体的に取り組めるようにしていきたい。

### 3 目標

○ボイスアンサンブルの言葉によるリズムやリズムの重なり方、反復、変化などの構成に関心をもち、それらを生かした音楽表現を工夫して音楽をつくる活動に主体的に取り組む。

（音楽への関心・意欲・態度）

○言葉によるリズムやリズムの重なり方の特徴を生かして、反復、変化などの構成や全体のまとまりを工夫し、思いや意図をもってボイスアンサンブルをつくる。（音楽表現の創意工夫）

○言葉によるリズムやリズムの重なり方の特徴を生かし、反復や変化などの構成や全体のまとまりを生かした音楽表現をするために、言葉を基にリズムをつくって重ねたり、構成を構造図に示したりして、ボイスアンサンブルをつくる。（音楽表現の技能）

### 4 題材の指導計画と評価計画（4時間）

次	時	学習課題・活動	評価規準
1	1	「どんぶりパーティー」「くいしんぼうのラップ」をみんなで演奏し、言葉とリズムの関係を調べよう。 ・全体で練習する。 ・2つの曲からどんな言葉にどんなリズムがついているのか調べる。（同じリズムでも違う言葉、同じ言葉	(関) 言葉によるリズムに関心をもち、いろいろな言葉にリズムを付ける活動に主体的に取り組もうとしている。 (行動観察・発言内容・ワーク)

		でも違うリズムが使われているものなど) ・グループでテーマを選択し、テーマから連想したいいろいろな言葉にリズムを付ける。	シートへの記入)
2		「どんぶりパーティー」「くいしんぼうのラップ」をみんなで演奏し、リズムの重なり方を探ろう。 ・2つの曲のリズムの重なり方について調べる。 (追いかける、ずらす、みんな一緒に・・・etc.) ・前時でつくったリズムを使い、実際に重ね方を試してみる。	(創) 言葉によるリズムやリズムの重なりを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受している。 (発言内容・ワークシートへの記入)
2	1 (本時)	「どんぶりパーティー」「くいしんぼうのラップ」を参考にして、リズムの重ね方、や全体のまとまりを工夫しよう。 ・2曲を参考にリズムの重なり方を確認する。 ・重なり方について、グループでいろいろ重なり方を試しながらリズムアンサンブルの創作を進める。 ・付箋を用いて構造図を創っていく。	(創) 言葉によるリズムやリズムの重なり方の特徴を生かし、反復や変化などの構成や全体のまとまりを工夫し、どのようにボイスアンサンブルをつくるかについて、思いや意図をもっている。 (行動観察・ワークシートへの記入)
	2	<b>自分たちでつくった曲を仕上げて発表しよう。</b> ・自分達が選択したリズムや重なり方を確認しながら最終決定する。 ・完成した構造図をもとに楽譜に表す。 ・自分たちで作った作品を発表する。 ・他のグループの演奏を鑑賞し、感想発表する。	(技) 言葉によるリズムやリズムの重なり方の特徴を生かし、反復や変化などの構成や全体のまとまりを、生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて、音楽をつくっている。 (発表の様子・ワークシートへの記入)

## 5 本時の学習

### (1) 目標

リズムの反復、変化、重なりを工夫して、仲間とともに3声のリズムアンサンブルをつくる。

### (2) 準備・資料

・リズムの重なり方の例を締めした掲示物・ワークシート・リズム一覧表・付箋・重ね方の一覧表・振り返りカード・作品を記録するための構造図（各自用・掲示用）

### (3) 実践力・表現力を高めるための指導の工夫のポイント

- ① 「くいしんぼうのラップ」と「どんぶりパーティー」の2曲を体験し、それを通して言葉にどのようなリズムを付けるのか、それらをどのように重ねるとどんな感じがするか等丁寧に学習し、それを基に次のボイスアンサンブルつくりに取り組むようとする。自分達のイメージするボイスアンサンブルをつくり上げていく中で、2つの曲で使われているリズムや重ね方を常に参考にしながら活動を進めていく。
- ② 言葉にリズムを付ける時の記譜については、2拍分ずつのリズムカードを使うことで考えやすくし、2枚選んで並べ、言葉を当てはめることでリズムと言葉を結び付けやすくした。また、アンサンブルについては、構造図（同じ言葉のところは同じ色の付箋を使うことで、付箋の重なり方が全体として視覚的にとらえられるようにし、曲全体のまとまりがわかるようにする。）を用いながらつくっていき、最終的に作品が完成したら、構造図を楽譜に表していく。

(4) 展開

学習活動（予想される生徒の姿）・内容	教師の働きかけと評価
<p>1 「くいしんぼうのラップ」をみんなで演奏する。</p> <p>2 「どんぶりパーティー」や「くいしんぼうのラップ」で使われていたリズムの重なり方（下記①～⑦）を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボイスアンサンブルの楽しさを味わいながら、演奏し雰囲気を作る。</li> <li>下記のような一覧表にまとめたものを各自に配布するとともに、掲示していつでも確認できるようにしておく。</li> </ul>
<p><b>①追いかけ</b></p> <p>●追いかけ型</p> <p><b>②みんな一緒に（違うリズム）</b></p> <p>●同時進行型</p> <p><b>③ユニゾン（同じリズムを全員で）</b></p> <p><b>④ソロ（ひとりだけ）</b></p> <p><b>⑤効果音</b></p> <p><b>⑥ひとつつのリズム（言葉）を別の声部に割り振る</b></p> <p>●分割型</p> <p><b>⑦同じリズム（言葉）を1拍ずらして</b></p> <p><b>【アンサンブルの構造図】</b></p>	<p>3 本時のめあてを知る。</p> <p>「どんぶりパーティー」「くいしんぼうのラップ」を参考にして、リズムの重ね方や全体のまとまりを工夫しよう。</p> <p>4 グループにごとに、ボイスアンサンブルつくりに取り組む。</p> <p><b>【約束ごと】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リズムの重なり方は①～⑦の中から2つ以上選んで使うこと。</li> <li>選んだら必ず声に出て重なり方を自分たちで試してみること。</li> <li>作品は全体を20から32小節くらいでまとめること。</li> </ul> <p><b>【予想される生徒の反応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>くいしんぼのように、①の追いかけで始まるのはどう。</li> <li>最後は、くいしんぼうのラップのように、</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>3声のボイスアンサンブルをつくること、約束ごとは必ず守るようにすることを確認したうえで取り組みを始めるようにする。</li> <li>付箋を使い上記のような構造図を全体のまとまりを考えながらつくっていく。</li> <li>各グループを周りながら、よい表現があったら一旦作業を中断させて、全体に紹介し、自分達の作品つくりの参考にさせる。</li> </ul>

<p>③のユニゾンでビシッと決めたらかっこいいと思うな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・⑦のようにずらしたら、おもしろいかな。</li> <li>・大事な言葉は、強調したいから、やっぱりみんなで一緒に言う③がいいと思う。</li> <li>・②のように違う言葉を一緒にいうのも、もりあがりそうだね。</li> </ul> <p>5 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が今日の授業でやったこと、わかったことを振り返りカードに記入する。</li> </ul>	<p><b>【評価】(創)</b></p> <p>言葉によるリズムの重なり方の特徴を生かし、反復や変化などの構成や全体のまとまりを工夫し、どのようにボイスアンサンブルをつくるかについて、思いや意図をもっている。 (行動観察・発言・ワークシートへの記入)</p> <p><b>【努力を要する生徒への働きかけ】</b></p> <p>リズムの重なり方①～⑦の中で、どの重なり方に興味があるかを聞き、他のみんなに伝えるよう声をかける。また、重なり方を試す所でつまづいている場合には、グループ内の生徒に教えてもらえるように声をかけたり、一緒に練習したりする。</p> <p><b>【十分満足できる状況例】</b></p> <p>自分のイメージや思いを仲間に伝えたり、仲間の意見を聞いたりしながら、進んで重なり方を選択し、みんなで試しながらリズムアンサンブル創りをしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次時は工夫した点や苦労した点を紹介し、つくったボイスアンサンブル曲を発表することを確認する。</li> </ul>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------